

Kamikawa

がふれあう住民自治のまち



No.78

10/13
2023

- 議会だより かみかわ -



神河町議会の
情報はこちら

9月16日
神河中学校
体育大会

令和4年度決算	2～6
議案審議の様子	7～9
委員会の様子	10～13
議会の活動	13～14
いっぱん質問 2人が登壇	15～17

令和4年度決算認定

86億9152万円(一般会計歳出)

(1人あたり82万円) ※令和5年3月末人口10,559人

貯金は増加、借金は減少

令和4年度決算は、決算特別委員会を設置して、9月14日に各会計の歳入歳出決算事項別明細書などに基づき審査を行い、全ての会計決算を認定しました。決算特別委員会での主な質疑は4、5ページに掲載しています。
 なお、本会議で代表監査委員から各会計とも適切に処理されていることや8項目にわたる意見が付加された報告がありました。

一般会計

歳入		89億1505万円	
科目名	令和4年度決算	前年度比	
町 税	17億7310万円	△4116万円	
地方譲与税・交付金	4億2271万円	△630万円	
地方交付税	37億9258万円	1億2882万円	
分担金・負担金	3584万円	216万円	
使用料・手数料	1億5201万円	△2253万円	
国庫支出金	9億597万円	△9971万円	
県支出金	7億783万円	9134万円	
財産収入・寄附金	1億1802万円	3213万円	
繰入金	1億4232万円	7463万円	
繰越金	1億9163万円	△8838万円	
諸収入	1億8793万円	△3957万円	
町債(借金)	4億8507万円	△1億6270万円	
合 計	89億1505万円	1億3129万円	

歳出		86億9152万円	
科目名	令和4年度決算	前年度比	
議会費	8130万円	392万円	
総務費	17億6794万円	△1億898万円	
民生費	15億8626万円	△1億2689万円	
衛生費	16億7869万円	△1億5141万円	
農林水産業費	6億5068万円	9434万円	
商工費	2億5416万円	△786万円	
土木費	4億7951万円	△1億6113万円	
消防費	2億1150万円	△4649万円	
教育費	8億1568万円	2345万円	
公債費	11億6575万円	1億8186万円	
諸支出金	0円	0円	
災害復旧費	0円	0円	
合 計	86億9152万円	△1億6320万円	

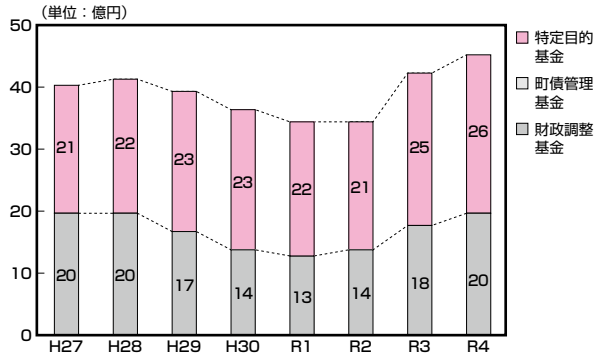
*1万円未満は切り捨てのため、金額が合わないことがあります。

令和4年度一般会計決算は、歳入総額89億1505万3000円、歳出総額86億9152万円で、差引額は2億2353万円と5年度へ繰り越すべき財源4

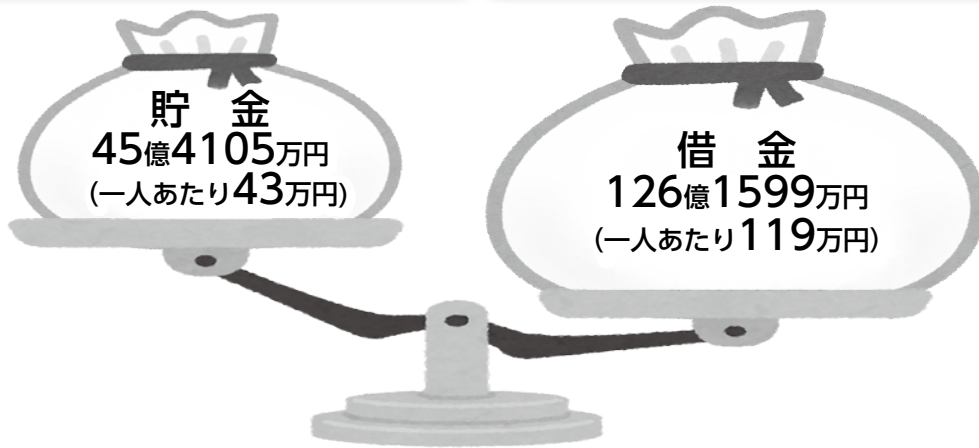
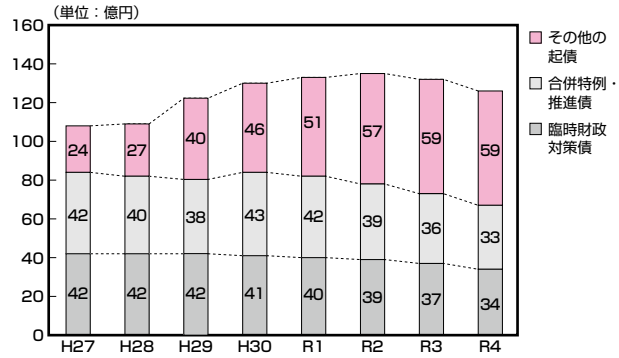
811万9000円を差し引いた実質収支額は1億7541万4000円の黒字決算となりました。町税の減少等財政状況が厳しさを増す中で、社会経済情勢の

変化を的確に把握し、歳入増に向けた取組を進めることや、既存の事務事業の廃止・見直し等も視野に入れて、引き続き財政基盤の強化と持続可能な行財政運営を行う必要があります。

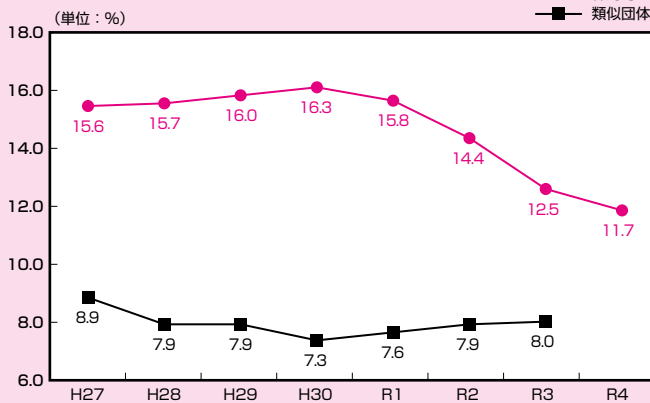
基金(貯金)残高の推移



地方債(借金)残高の推移



実質公債費比率



◆実質公債費比率とは◆

税などの収入に対して借金の返済に使ったお金の割合。

◆神河町の実質公債費比率の特徴◆

合併による旧両町の起債残高の元金償還が多額なため、類似団体より高い水準となっている。この比率を下げるために「公債費負担適正化計画」の着実な実施により徐々に改善している。令和4年度も4年連続で減少しているが、まだ類似団体よりも高い水準のため、今後もしっかりと適正管理していく必要がある。

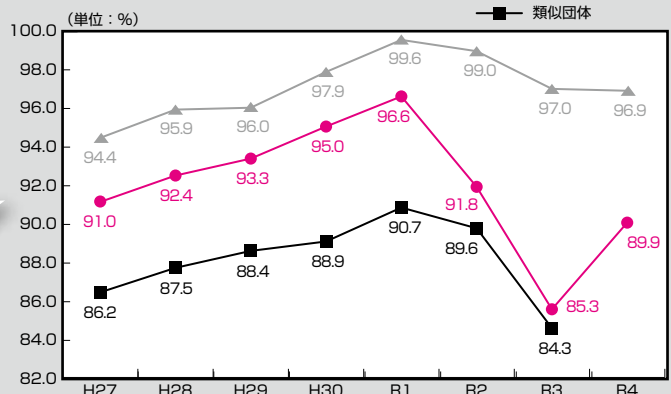
◆経常収支比率とは◆

人件費などの経常的な経費に、税金などの経常的な収入を充当している割合。比率が高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。

◆神河町の実質公債費比率の特徴◆

歳入は、普通交付税が増加したが、町税等の減少により、全体としては減少。歳出は、公債費(過疎債の元金償還)が大幅に増加。また、病院や中播北部行政事務組合への補助金も増額。それにより、歳入は減少、歳出は増加となり、経常収支比率が4.6ポイント増加した。今後も、健全な財政運営に努めていく必要がある。

経常収支比率



主なQ&A

9月14日開催

一般会計

歳入

Q 不納欠損にならないよう徴収計画に基づき、関係課と調整しながら徴収活動を進められた。

A しっかりと記録を取りながら、法律に基づき適切に行っている。

歳出

Q 企業誘致は積極的に進められたのか。

A 令和4年度は大きな企業誘致にはつながっていない。いろいろな企業と話をし、令和5年度に進めていく。

Q 公用施設感染症拡大防止環境整備事業で購入した加湿空気清浄機67台の配付先は。

A 40台は、各集落に、残り27台は、役場内会議室や中央公民館等に配付し利用している。



加湿空気清浄機

Q 顧問弁護士へ委託料の支払いがあるが、契約内容は。

A 行政に関する全般的な法律相談をもちょうている。

Q 子ども会活動事業で、予算と決算の差が非常に大きい。理由は。

A コロナの影響で球技大会が実施できず、その分で差が出た。

Q 民生児童協力委員の役割をどのように認識されているのか。また、来年度に処遇改善はされるのか。

A 民生児童協力委員は、民生児童委員の補佐的な役割を担ってもらっている。来年度の処遇改善に向け、前向きに検討していく。

Q 猟友会に補助が出ているが、内容は。

A 狩猟免許取得にかかる費用の一部を補助している。特に猟銃の免許は多くの経費がかかるため、10万円の補助をしている。



Q 移住・定住施策を行っているが、住民票を動かさずに町内に住まわれている人が増えている。集落内で問題も出てきているので、何らかの手立てをお願いしたい。

A 今後(一社)かみかわ移住定住サポートセンターと協議し、移住者が各地区に入っ一緒に住んで居住を楽しんでもらえるよう対策を検討していく。



かみかわ移住定住サポートセンター

Q グリーンエコー笠形多額の指定管理料が支払われている。毎年金額の見直しを行い、必要であれば指定管理料を減額するべきでは。

A 執行部で協議し、適切な処置をしていく。

Q ひょうごがんばり学びタイム事業の説明で、小学校での英語教育の充実を図るため、英語が堪能な地域人材を活用とあるが、その状況は。

A 神河町在住の元英語科教師1名が、各小学校の5、6年生の英語の授業に週2時間程度補助で入っている。

総括質疑

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を行政手続オンライン化システム改修事業に充当しているが、ほかに支援が必要な方に回すべき予算ではなかったか。

A 行政オンライン化の経費に充当したことは間違っていたとは思っていない。これからのデジタル化時代に対応するために交付金を利用し事業を進めたことは、一定の効果があったと考えている。



2050神河将来ビジョン

Q 令和4年度の事業で2050神河将来ビジョンの策定業務を委託しているが、町の計画なので外注するのではなく、町職員で策定するという考えはなかったのか。

A 直営でできるものは直営でやっていくよう検討する。委託料で特にコンサル任せになっている分は、今後財政的にもメスを入れていく。

Q 介護認定の方やその家族の方々の相談等はケアマネージャーがされていると思うが、健康福祉課では相談や状況把握をしていないのか。

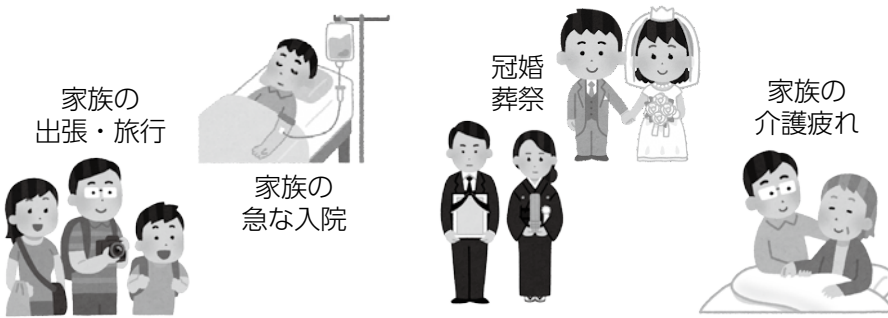
A 要介護の方の状態がどのような状態か詳細までは把握できてない。



スマホ決済

Q 国民健康保険事業特別会計。国保税の徴収率が低い。徴収率を上げる取組は考えているか。

A 徴収の強化とコンビニ納付やクレジット納付、スマホ決済納付等納付しやすい環境のPRをしていく。



レスパイトケアはこんなときにご利用ください

Q 訪問看護事業特別会計。病院で行っているレスパイトケアは、どのような制度か。

A 一般的には短期医療入院という意味で、在宅の患者で一時的に家族の介護が受けられない場合に病院に入院していただくものである。

Q 公立神崎総合病院事業会計。入院患者1日当たりの収益をほかの自治体ケアミックス病院の平均額と比べると、当院は平均額よりも多い。その理由は。

A 当院は、ほかの自治体ケアミックス病院よりも機能が高く、それが単価に反映していると推測している。

Q 下水道事業会計。当町の水洗化率は99.05%と非常に高い数値であるが、水洗化以外の処理方法は。

A 汲み取りで対応している。

Q 浄化槽の更新工事は管理業者からの報告に基づき、異常があるところから優先的に工事していくのか。

A そうである。

令和4年度一般会計決算 反対討論 藤森 正晴

「大好き！私たちの町かみかわ」は共有できているのか！

新型コロナウイルスが3年目に入り、1日も早い収束を願った年度であったが、町独自の取組がなく、十分な対策ではなかった。栗賀小学校跡地整備事業の設計は、町民の声が反映されたとはいえない。企業誘致は積極的に取り組んだとのことだが、現状は進んでいない。

また、山田地内で建設予定のニンジンジュース工場は業者都合で中止となり、信頼をなくしたことは大きな問題である。

町のめざす姿は「変わらない風景を未来の世代へ」であるが、景色は変えてもよいのではないかと、若き職員の出番を多くつくり、「大好き！私たちの町 かみかわ」を共有し、魅力あるまちづくりを期待する。

決算に対する監査委員の主な意見

監査委員 とうごひでき 藤後秀喜代表監査委員、 よしおかよしひろ 吉岡嘉宏議選監査委員

令和4年度全会計について、7月19日から25日の間の5日間で各会計に対する決算審査を行い、決算計数等、いずれも法令に準拠して適切に処理されていることを認めました。

令和3年度決算審査で意見しました①～⑦までの各項目については、一定の改善はされています。特に③については、収支見込調書の精度向上と適正な資金運用に取り組まれた結果、一定の成果もあり高く評価しています。いずれの事項も今後も常に留意して取り組むべき事項であり、特に意見をしました。



決算審査の様子

監査委員からの意見

- ① 契約事務を行うに当たっては、競争性、経済性、公平性及び透明性の確保に努められたい。
- ② 補助金交付団体の会計処理は、要綱に基づいて適正に行い、報告書については一定の統一したものを作成すること。あわせて各種補助金の成果を常に検証し、内容によっては補助金額の見直しも検討されたい。
- ③ 各課提出の収支見込調書の精度を高め、適正な資金運用に努められたい。
- ④ 内部統制システムの運用の徹底を図られたい。（特に各課の事務マニュアルは毎年の点検実施）
- ⑤ 職員の心身の健康管理面から、適正配置や業務の効率化等事務分掌、超過勤務が常態化しないよう人事管理に十分な留意を払われたい。
- ⑥ 備品管理台帳の精度を高め、適正な財産管理に努められたい。
- ⑦ 各課における窓口での現金の取扱いについては、公金取扱マニュアルに基づき、事故を防止されたい。
- ⑧ PDCAサイクルを効果的に回し事業の見直しや改善を図るため、事務事業進捗管理シートの活用を徹底を図られたい。

中学生の通学用自転車購入費 3万円支給決定！

第115回
9月
定例会



自転車で通学する神河中学校の生徒たち

第115回定例会は、9月4日から27日までの24日間の会期で開催されました。町からは報告1件、諮問2件、条例改正3件、公社の解散1件、令和5年度補正予算11件、令和4年度決算認定14件、追加で工事契約1件、補正予算1件の計34件が提案され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり可決、認定しました。主な審議内容は次のとおりです。また、2人の議員による一般質問が行われました。一般質問は16、17ページに掲載しています。

条例の一部改正

〔町立学校通学費等の支給に関する条例〕

令和4年12月定例会で提案されましたが、審議する期間が短く、補助要件の整理等も十分なされていないことから、反対多数で否決したものを見直し、再提案されました。主な改正点は、中学校の自転車通学生徒の自転車購入費の一部として3万円を令和5年4月にさかのぼり支給することで、経済的な面での負担軽減を行うため改正するものです。

小・中学校入学時にかかる費用負担の軽減を図る支援策を令和6年度から始めるため、具体的な取組を検討していくとのことです。

諮問

〔人権擁護委員の推薦〕

令和2年からお務めいただいている岡部久美代氏が令和5年12月31日をもって任期満了となります。

その後任に、鉢木ひとみ氏を、また、引き続き松田隆幸氏を推薦したい旨の提案があり、両名とも「適任者である」と意見を付しました。任期は令和6年1月1日から3年間です。

条例の一部改正

〔特別会計条例〕

現在、ケアステーションかんざきで、神崎郡3町で取り組んでいる介護療育支援事業に病児病後児保育事業と在宅医療・介護連携支援事業を加えた3事業会計を一本化し、事業の効率化を図るため、改正するものです。

人権擁護委員
(R6.1.1～)



はちき 鉢木ひとみ氏 (本村区)



まつだ たかゆき 松田隆幸氏 (福本区)

粟賀小学校跡地公園・図書コミュニティ施設 工事契約を締結！ 令和7年3月完成予定



公園・図書コミュニティ施設完成予想図
(イメージ図のため、今後変更になる場合があります)

契約 〔粟賀小学校跡地公園・ 図書コミュニティ施設整 備工事請負〕

この工事にかかる一般競争入札が、2回続けて不調となったことから、3回目は随意契約方式で2回目の入札で入札額が一番低かった大鉄工業(株)神戸支店と請負金額7億9750万円(消費税込み)、完成予定日を令和7年3月21日とする請負契約です。

なお、近年の物価高騰の影響で当初の整備事業費8億円では書架等の整備ができず、遊具を含め全てを整備するには約1億7500万円余り整備費が超過する見込みです。

補正予算

〔令和5年度一般会計 (第4号)〕

歳入歳出それぞれ1億8090万9000円増額し、歳入歳出予算の総額を94億6561万7000円とするものです。

主な内容は、令和4年度決算に伴う財政調整基金の積立金や企業版ふるさと納税基金の積立金、農業生産コスト低減緊急対策事業補助金、長谷幼稚園再開に伴う長谷小学校改修工事費等の増額です。

〔令和5年度一般会計 (第5号)〕

歳入歳出それぞれ2550万2000円増額し、歳入歳出予算の総額を94億9111万9000円とするものです。

主な内容は、6月から8月にかけて、観光施設等への落雷により故障した設備の修繕費の増額です。

〔令和5年度公立神崎総合病院事業会計(第2号)〕

4条予算で歳出を665万9000円増額し、歳出予算の総額を2億9363万8000円とするものです。

主な内容は、医療器械の故障で診療業務に支障をきたすことから、複数の器械の更新費用や会計事務の効率化を図るための新たなレジシステム導入費用等の増額です。

第114回

8月臨時会

8月10日開催

条例の一部改正

〔町職員(病院)の特殊勤務手当に関する条例〕

厚生労働省の通知を受け、コロナ医療など一定の役割を担う看護職員等の処遇改善手当を月額10,000円から12,000円以内に改正するものです。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ 第114回臨時会（8月10日開催）

議案番号	件名
第57号	神河町職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件

※廣納議員は欠席のため、採決には加わっておりません。

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ ※第115回定例会（9月4日～9月27日開催）

報告番号	件名
第5号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件

諮問番号	件名
第1～2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件

議案番号	件名
第58号	神河町特別会計条例の一部を改正する条例制定の件
第59号	神河町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第60号	神河町立学校通学費等の支給に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第61号	兵庫県町土地開発公社の解散について
第62号	令和5年度神河町一般会計補正予算（第4号）
第63号	令和5年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算（第2号）
第64号	令和5年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
第65号	令和5年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
第66号	令和5年度神河町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
第67号	令和5年度神河町土地開発事業特別会計補正予算（第1号）
第68号	令和5年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）
第69号	令和5年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算（第1号）
第70号	令和5年度神河町水道事業会計補正予算（第2号）
第71号	令和5年度神河町下水道事業会計補正予算（第2号）
第72号	令和5年度公立神崎総合病院事業会計補正予算（第2号）
第74号	令和4年度神河町介護療育支援事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第75号	令和4年度神河町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第76号	令和4年度神河町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第77号	令和4年度神河町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第78号	令和4年度神河町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第79号	令和4年度神河町訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第80号	令和4年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第81号	令和4年度神河町寺前地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第82号	令和4年度神河町長谷地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第83号	令和4年度神河町浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第84号	令和4年度神河町水道事業会計決算認定の件
第85号	令和4年度神河町下水道事業会計決算認定の件
第86号	令和4年度公立神崎総合病院事業会計決算認定の件
第88号	令和5年度神河町一般会計補正予算（第5号）

◆賛否の分かれた議案等◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					小島	木村	澤田	廣納	安部	吉岡	松岡	藤森	藤原	欠番	栗原	小寺
第73号	令和4年度神河町一般会計歳入歳出決算認定の件	9	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	-
第87号	神河町栗賀小学校跡地公園・図書コミュニティ施設整備工事請負契約の件	7	3	可決	○	×	○	○	○	○	×	○	×	-	○	-

●○は賛成、×は反対です。12番の小寺議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。
●10番は欠番となっています。

総務文教常任委員会

8月9日開催

教育課

市川町からの要望により、学校給食センターの共同運営について両町の副町長と担当部署で協議しています。



神河町学校給食センター

給食センターの共同運営に向けた課題の整理、施設統合に必要な経費の負担割内の確認、共同運営開始後の経費の試算など、基本的な説明を議会に対して早急に行うように申し入れしました。

Q 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に関わる子ども・子育て会議の委員の予定者は、町民から委員を公募しないのか。委員名が公表されれば、その委員に意見が言えるとの要望があるが。

A 委員は、民生児童委員、PTA代表、幼稚園職員、保育園園長、保育園保護者、児童センター職員を予定している。今のところ公募は考えていない。委員名の公表については、要望を参考に検討する。

Q 町民温水プールの利用促進の取組で、健康福祉課の協力により実施しているモニタリングについて、利用の有無による医療費の多少などの調査では不十分である。保健師が利用者の血圧を定期的に測定するなど、水泳の効果を明らかにする調査分析が必要ではないか。

A 健康福祉課と再協議する。

税務課

税務課の事務事業は、順調に進捗しています。

会計課

会計課の事務事業は、順調に進捗しています。

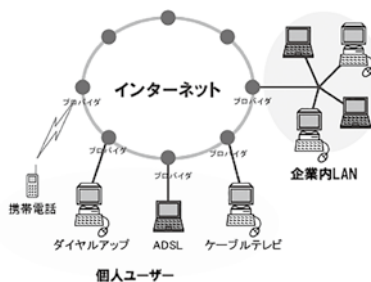
総務課

Q 町長が地区別懇談会などで「インターネットを2ギガに増速したが、これではもうだめだ。今後は10ギガにしないと町に企業や事業所を呼び込めない」と発言されている。その方向で検討しているのか。

A 町の光回線は物理的に10ギガまでは対応できる。10ギガ以上は、現在契約している業者よりもさらに上位のプロバイダーとの契約が必要で、契約額が法外もなく高額となり、1戸当たりの利用料金も高額になる。

Q 町民からは増速を期待する声を多く聞かれますが、高額な料金負担となると現実的ではない。内部でしっかりと協議してほしい。

A しっかりと議論をした上で発言をしていただくようにする。



Q 廃校跡地整備活用事業の地域交流センター跡地のゲートウェイアジア合同会社と、川上小学校跡地の(株)BugMo(バグモ)が、それぞれ当初計画どおりに事業が実施されていない。期限を切り、区切りをつけて次の活用策を考えるべきでは。

A それぞれの事業者と10月に再協議する。

民生福祉常任委員会

8月17日開催

公立神崎総合病院

●待ち時間対策の取組として、病院待合室や病室等に無料Wi-Fiが整備されました。



院内に整備された無料Wi-Fi（無線ネットワーク）

●経営改善に関わっているコンサルから、将来的には病院のダウンサイジングを行うべきであるが、しばらくは患者数が大きく減少しないので、生産性の向上に向けた提言を考えていると病院が報告を受けたとのこと。

Q 改革を進める上で職員の意見聴取等真摯な対話が必要では。

A 医師、職員の意識改革のための対話は進めていきたい。

健康福祉課

●生活支援体制推進会議では、生活支援コーディネーターや健康福祉課等関係課が中心になって、地域づくりの推進を進めています。また、各ブロックの地域自治協議会と協議し、「安心カプセル」等の実施や検討を進めているとのこと。

Q 生活支援協議体の設立に向けて、どのような計画で進めるのか。

A 生活支援協議体を地域自治協議会の中に入れて、生活支援コーディネーターも入れて、地域自治協議会の中で考えることをベースにおきたい。



安心カプセル

健康増進事業

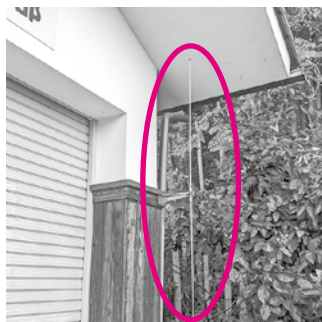
Q 町民温水プール利用促進の取組で、社会参加と介護予防効果の関係をモニタリングしているとのことだが、その内容は。

A 生活習慣病予防対策や糖尿病の予防・改善等で町民温水プールの活用を検討している。モニタリング内容は、町民温水プールを利用している方と利用していない方の評価分析を行ない、どのような効果があるか分析する。

住民生活課

●広域行政次期ごみ処理施設計画は、市川町浅野区で進められており、今後は、事業者の選定に移ります。

●防災行政無線で、放送が聞こえない等の不具合がまだ若干あります。ダイポールアンテナの設置や送信子局の調整を進めています。



ダイポールアンテナ

A 防災メールとエリアメールを配信したが、契約事業者側で不具合があり、避難情報が配信されなかった。事業者にも確認し、原因把握に努めている。サイレン吹鳴がされなかったのは、放送する際の手順を誤ったためである。

●姫路市中播消防署建て替えは、郡内3町で合意ができ、足並みを揃えて広域行政で取り組んでいく方向です。

上下水道課

Q 財政シミュレーションの予測と実績でかなりの開きがあるが。

A 水道事業は純利益が100万円少なく、下水道事業は3000万円の赤字決算である。見込みの段階で財政シミュレーションを見直している。

Q 台風7号が当町を通過したときの情報伝達非常遅く、防災行政無線でもサイレン吹鳴がなかった。危機管理はどうなっているのか。

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

産業建設常任委員会

8月10日開催

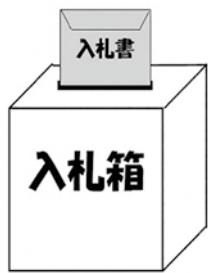
建設課

Q 高垣橋（加納地内）の工事は、契約締結後、工事着手されず、業者から何の連絡もないまま期限が過ぎて契約解除になったが、どうなっているのか。

A 業者に確認すると、下請業者の関係で工事が着手できないとのことである。

Q 契約解除は前代未聞である。業者に対する処分は。

A 期限を切らず、入札指名停止とする。



常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

地籍課

Q 防災ヘリコプターを使った訓練はどうなっているのか。

A 神戸航空隊と連絡をとったが、今年度は厳しいとのことであり、次年度は実現させたいと考えている。

発煙筒を用いた訓練は、今年度中に実施したい。

農林政策課

Q 森林環境譲与税3000万円を今年度中に使い切ることだが、腹案はあるのか。

A 森林環境譲与税基金の一部を山の整備にかかる観光施設管理事業に繰入れをしたいと思っている。

来年度以降は未確定だが、栗賀小学校跡地整備事業の施設内の木質化に充ててはと思っている。

ひと・まち・みらい課

Q JR播但線利用推進事業 遠距離通勤・通学補助事業は、あまり効果のない事業に思える。他の事業に予算を回すことも考える必要があるのでは。

A 特急はまかせ利用促進補助金を使いながら、新たな事業に取り組みむとか、日常的な利用効果をどのように出せるか検討したい。

デマンド交通事業

作畑新田線、上小田線に交通車両2台を購入予定です。



デマンド交通用に購入予定の車両（日産 キャラバン）

アグリイノベーション推進事業

Q 地方創生推進交付金で購入した農機具は、実際に使用されているのか。

A 使用していない農機具は、活用に向けて検討している。



乗用型にんにく植付機

栗賀小学校跡地整備事業

Q 栗賀小学校跡地整備事業に充当するための企業版ふるさと納税は本年度だけなのか、次年度も続けるのか。

A 令和7年3月31日までの国の認定をもらっている。遊具の財源に充てるといことで募集していないので、栗賀小学校跡地整備事業に関して使えると認識している。



8月23日実施の地籍課、中播消防署、中はりま森林組合の3者合同での山岳救助訓練の様子

教育課

Q 平成29年に「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」が策定された。当町のいじめ報告件数は、平成29年度50件、30年度45件、令和元年度25件、2年度20件、3年度13件、4年度6件である。気づかなかったいじめがないか、今一度ガイドラインをしっかりと確認し対応願いたい。

A 気を引き締めて、ガイドラインを遵守し、いじめの未然防止、早期発見に努める。

Q 令和4年度の神河中14名である。適応教室に入りきれない状況では、空き教室を利用し、生徒を分散して対応している。

A 不登校は神崎郡全体の課題となっている。兵庫県「但馬やまびこの郷」

から指導主事を招き、研修会を開催している。神河中学校に適応教室を兼ねた教育支援センターを設置し、3名体制で一人ひとりを大切にすることを不登校児童・生徒に対応していく。

住民生活課

Q 本人通知制度の登録者数は、令和3年度が680人、令和4年度が690人と増えていない。制度の内容や登録することによるメリットが理解されていないのでは。

A 人権啓発大会や青少年健全育成大会時には、本人通知制度登録出張窓口を開設している。今後、町広報紙やホームページ等で積極的に発信し、登録者増につなげる。

宮城県大和町議会と柴田町議会を訪問

7月3日、4日に議会運営委員4名と議長が、先進的に議会改革に取り組まれている2町に視察研修に行きました。

大和町議会は、議員のなり手育成や定数、報酬などを検討するため、町民代表の各種団体長等24名を研究員に委嘱し、大学や新聞社の協力を得て「これからの大和町議会のあり方プロジェクト」に取り組みられています。

柴田町議会は、議会基本条例の目的を達成しているかを毎年検証するとともに、行政への政策提言を行うため、議員間での討議を活発に行われています。また、各常任委員会がテーマを決めて、住民・各種団体・高校生などと積極的に対話を行い、政策提言を行っております。

神河町議会で議会改革の取組を開始

8月8日に全員協議会を開催し、大和町議会・柴田町議会の視察報告と今後の神河町議会の議会改革の取組を協議しました。まずは、来年度の予算編成に向けて議会として政策提言を行うため、各常任委員会で委員間討議を行うことを決定しました。また、来年度から大学関係者等の協力を得て、具体的な議会改革に取り組むための準備を行っていきます。



柴田町議会視察の様子

京都府与謝野町議会が行政視察訪問

8月3日に京都府与謝野町議会が①地域自治協議会の取組、②町ケーブルテレビ、インターネット事業について行政視察のため来町されました。議会から議長と総務文書常任委員長が出席しました。町長、総務課長ほか担当職員から調査事項について当町の取組状況を説明し、質疑及び意見交換を行いました。



行政視察の様子

「議会に相談できるシステム」の検討結果

令和5年1月開催の区長会との意見交換会で要望のありました「SNSを活用した相談システムづくり」について議会協議しました。

その結果、意見・要望の分析から課題の把握、ほかの類似案件との調整、他地域との調整等の検討が必要で、議会としてより多くの町民の皆様に納得していただける1つの施策や改善策をまとめるには多くの議論が必要となります。

かえって意見等をいただいた皆様にご迷惑をお掛けしてしまう恐れがあることから、「議会に相談できるシステム」づくりは見合わせることにいたしました。

なお、従来どおり電話やFAX、メール等での相談等は今後も対応いたしますので、ご理解をお願いします。

広報研究会に参加

8月2日に兵庫県町議会議長会主催の令和5年度議会広報研究会が兵庫県民会館（神戸市）で開催され、議会から広報公聴活動調査特別委員と議長が参加しました。

（一社）自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏による講演「伝わる議会広報の編集ポイント」の後、各町議会広報紙について、具体的にリード文の付け方、字体、数字の見やすさなどを個々に指導を受けました。



広報研究会の様子

議会の意見交換会

皆さんの意見をお聞かせください

意見交換会の開催にあたり、開催希望団体を募集しています。

町政や議会に対しての意見、提案などを直接お聴きし、政策提言等に反映します。

詳しくは、町のホームページをご覧ください。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

神河町役場 議会事務局

TEL 0790-34-0213

Email : gikai@town.kamikawa.hyogo.jp



申込書
ダウンロードページ

本会議の様子を



録画配信しています!

定例会・臨時会の様子を会議終了後に見ることができるように、町のホームページで録画配信をしています。下のQRコードを読み込んでいただくか、インターネットで「神河町議会 議会録画配信」と検索していただき、ご覧ください。

神河町議会 議会録画配信

検索

ぜひご覧ください



神河町議会
録画配信ページ



みなさんの声

を

町政に

一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、議会だよりに掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は2人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送
16	吉岡嘉宏 議員	①相続登記義務化の周知活動は必要 ②神河町子どもを健やかに生み育てる支援金の拡充を ③上小田区内のスキーシーズン中のトイレ対策を	11月8日(水) 午後7:00～
17	小島義次 議員	①学校の指導用教材を公費負担で ②観光業務をスムーズかつ有効に行うための工夫は ③病院受付業務のスムーズ化を	11月8日(水) 午後8:00～

※この日程は変更となる場合があります。

20日(水) 定例会最終日(採決)

14日(木)・15日(金)
定例会(一般質問)

8日(金) 総務文教常任委員会
(付託議案)

6日(水) 定例会
(提案・質疑等)

12月

30日(木) 議会運営委員会

21日(火) 総務文教常任委員会

15日(水) 民生福祉常任委員会

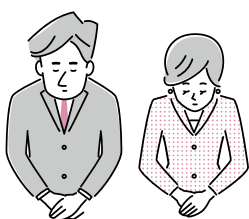
9日(木) 産業建設常任委員会

11月

主な議会日程

本会議等の傍聴について

希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付票に住所、氏名等を記入し、受付箱に投函してください。なお、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡をください。



議会だよりかみかわ
第77号の一般質問記
事の文字訂正

6月定例会における
松岡宣彦議員の一般質問で、記事の訂正があります。

林道専用道神河1号線(吉富区く杉区間)開設に係る一般質問の答弁で、農林政策課長が「林業専用道大畑越知線は県代行で施工中」と答弁しましたが、正しくは林道開設に向けて事業に着手したという意味の「施行」が適切な表現になります。お詫びして訂正します。



吉岡 嘉宏 議員



- ◎相続登記義務化の周知活動は必要
- ◎神河町子どもを健やかに生み育てる支援金の拡充を
- ◎上小田区内のスキーシーズン中のトイレ対策を

相続登記義務化の周知活動は必要

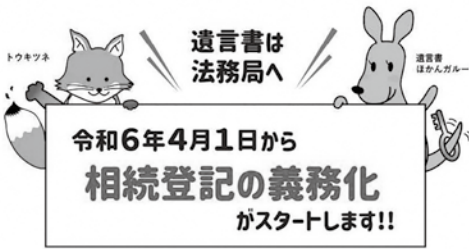
Q 令和6年4月1日から不動産の相続登記が義務化される。相続で不動産取得を知った日から3年以内に相続登記をしなかった場合、10万円以下の過料が課せられることになる。町内7ブロックに分けて説明会を開催すればどうか。町にとても次のメリットが考えられる。

A ①公共工事の際の地権者の明確化
②空き家バンク事業や特定空き家対策事業において所有者の明確化
税務課では納税義務者が死亡され、遺族の方が手続きに来庁された際に相続登記が義務化されたことを説明している。広報紙やホームページで今後周知する予定で、説明会の開催は当面の間、予定していない。

町には移住定住サポートセンターが柏尾区内に設置してあり、そこが事業主体となり、講師の選定等事業を任せればよい。所有者が死亡した後窓口で説明することだが、住民には将来の備えとして説明会が必要で、相続登記の義務化に対処すべきである。

Q 町長などの幹部へは、移住定住サポートセンターがセミナーを随時開催しているの、聴講され再考されるよう要請しました。

A 今すぐにやるべき事業とは思っていない。



神河町子どもを健やかに生み育てる支援金の拡充を

Q 令和4年の年間出生者数は38人という危機的な数値であった。施策として、他市町に無い既存の制度を次のとおり拡充し、保護者にとって魅力的なものにしてはどうか。

A これまで高校生までの医療費無償化や出産祝い品贈呈など取り組んできたが、出生数の現状を考えると、出産、子育て支援に加え、出会い・結婚に対しても支援の検討が必要である。

Q 町内居住3年以上かつ、第3子以降の出生で出生時10万円、6歳到達時に5万円、12歳到達時に10万円の支給。
改正案 第1子以降出生時に10万円、小学校入学時に5万円、中学校入学時に10万円の支給。

上小田区内のスキーシーズン中のトイレ対策を

Q 上小田区内において、スキー客が車の渋滞等でトイレに困られ、民家にトイレ借用の申し出が頻繁にあると町長懇談会でお聞きした。遠方の観光地では、新田ふるさと村方面なら川の駅越知、砥峰方面なら長谷ふれあいマーケットなど途中のトイレは確保できている。上小田バス停横の公衆用トイレを改修工事するなどし、上小田区内に公衆用トイレの確保が必要ではないか。

A 早急に解決すべき事項と認識している。上小田バス停横の公衆用トイレを調査したところ所有者が不明で活用は難しい。上小田区ゲートボール場入口のトイレの開放について上小田区に協議を申し入れた。もしも地元調整がシーズンに間に合わない場合は、仮設トイレの設置も視野に入れている。



小島 義次 議員

学校の指導用教材を公費負担で



教育長

補助教材は児童の学びを支え、学力を高めるために重要な役割を果たしており、大きな教育効果が期待できる。



補助教材

Q 児童が使用する補助教材の種類はどのくらいか。

A 教育課長
小学校では、学年ごとに10種類〜19種類の補助教材を使用している。

(※補助教材とは、計算ドリル、漢字ドリル、問題集など教科書以外に使う教材のこと)

Q 公教育の場で教師が使用する指導用教材を業者側にサービスで提供を求めるのは問題があるのでは。必要不可欠な指導用教材は、公費負担すべきでは。

A 教育課長
指導者用の補助教材は、公費負担で購入する方向で進めたい。

観光業務をスムーズかつ有効に行うための工夫は

Q 「カーミンの観光案内所」と「銀の馬車道交流館」の運営主体はどこか。また、連携はあるのか。

A 商工観光特命参事
「カーミンの観光案内所」は神河町観光協会、「銀の馬車道交流館」は神河町商工会が管理運営を行っている。

Q それぞれのガイド料に違いがあるが、仕組みの違いは。また、観光協会のボランティアガイド料を無料にできないか。

A 商工観光特命参事
観光協会は、問い合わせの対応やガイド依頼等の窓口となっている。ガイド料は基本料金が1団体1000円で、参加者1名につき、100円の加算である。ボランティアガイドへの報酬はなく、徴収したガイド料はガイドの研修費や運営費等に充てられている。

銀の馬車道交流館



カーミンの観光案内所



銀の馬車道交流館では、店番として見学者への館内説明を行っている。ボランティアガイドとしての業務はしていない。サービスを継続させるため、ガイド料金の一部を報酬としてガイドに支払うことや入館料を有料とし、報酬や後継者育成のための経費としていきたいと考えている。持続可能なサービスの提供のためには、応分の費用負担を求めることが必要と考えている。

病院受付業務のスムーズ化を

Q 受付で患者の症状や意向を聞き、早く医師に伝え、医師の見解がすぐに患者に伝わる仕組みはできないか。また、受付業務の改善は可能か。

A 病院副院長兼事務長
治療方法は、医学的判断ができる医師が対面で診察することで決定するため、診察前に医師から患者に伝えることは困難である。

また、ベストな治療方法は医師の診断に基づき患者と意見を交わして決定されるものであり、一律にルール化できるものではない。受付業務の改善は、待ち時間対策を検討している。

ひとこと

患者の思いと受付対応がマッチすると安心できます。

まちかど

インタビュー

第14回



取材日：9月1日
取材者：栗原 廣哉

第14回は、令和5年4月から神河町区長会会長を務められております前嶋茂徳さん（栗区在住）にお話を伺いました。

自己紹介をお願いします

私は、姫路市内にありますプラント電気設備建設会社に38年間勤務し、60歳で退職、現在68歳です。

家族は、かみさんと一姫二郎の3人の子（孫4人）で全て独立しています。現在はかみさんと2人暮らしです。



まえしま しげのり
前嶋 茂徳さん

趣味は炭焼きで、50歳前から仲間たちと窯作りから始め、冬になると炭焼きをしています。できあがった炭でのBBQは最高に美味しいです。また、地元の小学生に炭焼き体験学習を行っています。



地元小学生との炭焼き体験
(なごえの森)

町の行事では合併当時から、かみかわ夏まつり企画実行委員として、子どもたちの思い出に残るものをと思い、現在も頑張っています。

新区長会長としては区長として3年目を迎え、まだまだ新米ですが、諸先輩のご協力の下、区長会長として住民のため、また神河町のために、一杯頑張っております。

町に望むことは

県下で一番小さい町ですが、県内の真ん中でキラリと光るまちづくりを微力ながら応援できればと思っております。

そのためには、行政の協力が必要不可欠であり、官民一体となり頑張れば県下で一番小さな神河町が他市町に負けない素晴らしい町になると思います。今以上のご協力をよろしくお願いします。

町議会に望むことは

全国的に議員のなり手不足とコロナウイルスによって、社会が変化してきている中でありますが、逆にこのときこそがチャンスと考え、新たな議会改革と議会運営を行われることを望みます。

あしがき



本年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが2類感染症から5類感染症に移行したことから、町内各地域で4年振りに五穀豊穡を祝って、賑やかな秋祭りが執り行われたものと喜んでいきます。

今年も地球温暖化の影響で、世界各地で異常気象による風水害が多発している中で、当地域は全国的に見ても風水害の少ない恵まれた地域の1つです。

これまで大きな災害もなく安泰に住み続けられることに心から感謝しつつ、恵まれた地域の益々の発展を願いながら、皆様方と力を合わせより良きまちづくりに励んで行きたいと願っています。

(藤原 資広)



広報公聴活動調査特別委員会
委員長 藤原 資広
副委員長 木村 秀幸
委員 小島 義次
澤田 俊一
松岡 宣彦
栗原 廣哉